

## 令和元年度横浜市病院協会事業報告

### 1 救急医療対策(公益事業)

- (1) 二次救急の拠点病院方式を中心とした横浜市救急医療体制に基づき、引き続き当協会及び会員病院は救急医療の提供に積極的に取り組んだ。

二次救急医療に対応する各病院の構成区分は、拠点病院Aが11病院、拠点病院Bが11病院、合わせて22病院、輪番参加病院数は30病院となっている。

加えて、病院協会として二次輪番応需（内科・外科・小児科）の必要な調整、とりまとめを行い、救急実績を集約して市に報告した。

(年度計)

拠点病院A	: 130,089人	(前年度 137,157人)
拠点病院B	: 82,150人	(前年度 89,224人)
輪番病院	: 7,158人	(前年度 6,602人)
小児救急拠点病院	: 29,467人	(前年度 31,731人)

- (2) 心疾患、脳血管疾患、産科、整形外科等の救急医療に取り組んだ。
- (3) 神奈川県高齢者救急連絡調整会議に参画し、高齢者救急にかかかかる搬送の方策(病院救急車を活用した搬送モデル事業)等について検討した。
- (4) ラグビーワールドカップ2019東京2020オリンピック・パラリンピック横浜開催推進委員会医療救護検討部会に参画し、医療救護体制等を検討した。なお、ラグビーワールドカップ2019については、会員病院の協力も得て無事終了した。

### 2 災害時医療対策(公益事業)

- (1) 横浜市災害医療連絡会議に参画し、災害時医療に対応する連携体制の確保を図った。
- (2) 各区に設置された災害医療連絡会議に会員病院が参加し、協議及び意見交換を行った。
- (3) 横浜市病院協会として、横浜市防災会議のメンバーに加わり横浜市における防災上の課題解決に取り組んだ。

- (4) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会長をトップとした「新型コロナウイルス対策会議」を設置し、行政の情報収集と行政への要望等を行った。

### 3 医療情報の収集、発信及び広報(公益事業)

- (1) 協会のホームページ「ヨコハマ医療の扉」の効果的、円滑な運用に努めた。

[ホームページ運用状況]

ホームページアクセス数：115,262件(314件/日)

時間外診療受付病院診療所アクセス数：17,524件(47件/日)

- (2) 医療・保健・福祉に関する情報を随時、会員病院に提供した。

### 4 地域医療連携の推進(公益事業)

- (1) 医師会など医療関係団体との連携を強化する等、地域医療体制の充実向上を図った。

- (2) 横浜市在宅療養連携推進協議会に参画し、病院と在宅療養の連携強化策の検討を行った。

- (3) 横浜市ICTを活用した地域医療連携ネットワーク研究会に参加し、研究・検討を進めた。

- (4) 地域医療検討会(市内7方面別)を開催し、各医療機関間の情報共有や意見交換を行った。

開催回数：14回 参加医療機関：延270機関

### 5 行政、医療機関団体等との連携強化及び政策提言(公益事業)

- (1) 令和2年度横浜市予算編成についての要望書を提出した。

- (2) 横浜市保健医療協議会に参画し、医療行政に対して必要な提言や要望を行った。

- (3) 横浜地域地域医療構想調整会議に参加し、市内7方面での地域医療検討会の状況を報告し、それらを踏まえて協会としての意見の反映に努めた。

- (4) 横浜市医療安全推進協議会に参画し、横浜市の医療安全窓口との連携強化を図った。

- (5) 横浜市認知症施策検討会に参画し、認知症の早期発見・早期対応について検討した。

- (6) 横浜市の医療・介護連携ケアパスの作成にかかる検討会に参画し、パンフレットの作成等に協力した。

- (7) 横浜市新型インフルエンザ等対策医療関係者連絡協議会に参画し、必要な提言や要望を行うとともに、新型コロナウイルス感染症検査体制の検討に参画した。
- (8) 横浜市医療的ケア児・者等支援検討委員会に参画し、支援体制の整備、ネットワークの構築について検討した。
- (9) 横浜市医師会の地域医療事業部会、医療福祉事業部会、勤務医事業部会において議論に加わるとともに、各夜間急病センター運営委員会に参画し、地域医療向上に向けた研究、検討を行った。  
また、ケアマネージャー医療研修事業に協力するとともに、新型コロナウイルス感染症にかかる医師会のクルーズ船対応について協力した。
- (10) 県立病院機構、市立大学病院等公的病院の運営に係る委員会・幹事会に参加した。
- (11) 中国の内モンゴル自治区病院協会と先進医療技術及び人材育成について提携交流することとし、心疾患のロータブレーター治療に関する研修について協議した。

## 6 学術研究、講演会及び研修会開催(公益事業)

- (1) 第21回学術講演会を開催した。  
開催日：令和元年11月26日(火)  
テーマ：「成長戦略としての事務系人材育成」  
講師：社会医療法人愛仁会  
理事長 内藤 嘉之 氏  
参加者：92人
- (2) 市民講演会を開催した。  
開催日：令和元年10月29日(火)  
テーマ：「インフルエンザの予防と治療、最新情報」  
講師：けいゆう病院感染制御センター  
センター長 菅谷 憲夫 氏  
参加者：172人
- (3) 横浜市、横浜市医師会等との共催による「医療安全研修会」を2回(1回中止)実施した。
- (4) 横浜市看護職員認知症対応力向上研修を実施した。  
研修修了者：194人

## 7 医療従事者の確保、定着促進(公益事業)

- (1) 看護専門学校における奨学生等受け入れ希望病院による説明会については、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、開催を中止した。(当初予定：令和2年3月9日(月))  
 なお、学生に対し奨学金制度、受け入れ希望病院等の情報提供を行った。

## 8 看護専門学校の運営

### (1) 学生数

学 生	在籍者数 (平成31年4月1日)	退学者数	原級 留置者数	進級又は卒業生 (令和2年3月末)
1 学年	86人(11人)	5人(1人)	3人(2人)	78人(8人)
2 学年	75人( 5人)	3人(0人)	7人(1人)	65人(4人)
3 学年	74人( 4人)	2人(0人)	1人(0人)	卒業生 71人(4人)
総 数	235人(20人)	10人(1人)	11人(3人)	214人(16人)

( ) 内は内数で男性数

### (2) 令和2年度入学試験結果

受験区分		試験日	受験者	合格者	入学者	
特別 入試	高校生	指定校	令和元年10月19日	21人	21人	21人
		公募校	令和元年10月19日	24人	20人	20人
	学 士		令和元年10月19日	3人	1人	1人
	社会人		令和元年10月19日	45人	8人	8人
一般 入試	第Ⅰ期		令和元年11月30日	47人	21人	20人
	第Ⅱ期		令和2年1月9日	35人	12人	10人
計			175人	83人	80人	

(3) 第23回卒業生(令和2年3月卒業)の就職状況

病院への就職		進 学	その他	卒業生合計
横浜市内	横浜市外			
62人	3人	1人	5人	71人

(4) 第109回国家試験受験結果  
(試験日:令和2年2月16日 合格発表:同年3月19日)

区 分	受験者数	合格者数	合格率	(参考) 全国平均
新卒者	71人	67人	94.4%	94.7%
合計	71人	67人	94.4%	94.7%

(5) 主な学校行事

年月日	行事名	人数
平成31年4月8日(月)	第25回入学式(1年生80人・保護者74人)	来 賓 30人
令和元年6月22日(土)	第1回学校説明会	参加者 90人
7月27日(土)	第2回学校説明会・オープンキャンパス	参加者107人
8月24日(土)	第3回学校説明会	参加者 92人
9月28日(土)	第4回学校説明会	参加者 51人
10月26日(土)	第5回学校説明会	参加者 36人
10月19日(土)	令和2年度入学・特別入学試験	受験者 93人
11月8日(金)	第25回戴帽式(1年生78人・保護者58人)	来 賓 36人
11月30日(土)	令和2年度入学・一般入学試験Ⅰ期	受験者 47人
令和2年1月9日(木)	令和2年度入学・一般入学試験Ⅱ期	受験者 35人
2月16日(日)	第109回看護師国家試験	受験者 71人
3月2日(月)	第23回卒業式	3年生 71人

(6) 学生募集の取組

- ア 令和元年5月24日に高校進路指導教諭を対象に学校説明会を開催した(参加高校15校)。
- イ 推薦入試指定校12校及び一般校4校の高校訪問を行った。
- ウ 受験志望者やその保護者が学校説明会に参加しやすいよう、土曜日に説明会を5回開催し、参加者は376人だった。
- エ 民間事業者が主催する進路ガイダンスに5回参加し、高等学校及び予備校等に出向き学校説明を行った。
- オ 本校ホームページによる学校情報の発信を行った。

(7) 看護師国家試験対策

- ア 早期からの看護師国家試験模擬試験を実施した(3年生9回・2年生1回・1年生1回・計11回)。
- イ 看護医療系学校受験対策の専門講師による学内補講を5日間実施した。
- ウ 学力強化が必要な学生を対象に学内教員ゼミを実施するほか、民間の予備校講座の活用を図った。
- エ 専任教員の国家試験対策力を向上させるため、国家試験対策セミナーを受講した。

(8) 会議・委員会・研修会

- ア 学校運営会議を12回開催した。
- イ 職員会議を11回開催した。
- ウ 入試委員会を13回開催した。
- エ 学校評価委員会を8回開催した。
- オ 防火・防災対策委員会を3回開催した。
- カ その他にカリキュラム委員会、実習委員会、学生指導委員会を開催した。
- キ 実習指導者夏期研修会を令和元年8月20日に開催した。

## 9 収益事業(収益事業等)

- (1) 看護職者賠償保険の取りまとめを行った。  
60 病院；延 3,137 人
- (2) 看護専門学校隣接駐車場の管理運営を行った。
- (3) 看護専門学校過去入試問題集の販売を行った。
- (4) 横浜スタジアム医務室の診療受託事業を実施した。

## 10 医療従事者の顕彰、福利厚生の実施(収益事業等)

- (1) 随時、会員の慶弔に協会として対応した。
- (2) 会員の親睦に係る懇親会、新年祝賀会を開催した。
- (3) 協会から神奈川県、横浜市に対して表彰の推薦を行った。
- (4) 会員病院が開催する市民公開講座等に対し支援を行った。  
(7 病院)
- (5) 協会報第 63 号、第 64 号を発行した。
- (6) 協会ニュース速報を 11 回 (NO. 251～NO. 261) 発行した。

## 11 管理運営その他(法人)

- (1) 会員数 (令和 2 年 3 月 31 日現在) : 108 病院
- (2) 第 70 回定時総会を令和元年 6 月 26 日に開催した。  
総会においては、平成 30 年度の事業報告・決算が審議され承認された。
- (3) 理事会を 11 回開催した。
- (4) 常任理事会を 11 回開催した。
- (5) 部会等の開催  
救急医療、地域医療、教育・研修等にかかる各種部会を必要に応じ、随時開催した。